

# 全国農業教育新聞

## 第1号

発行所  
全国高等学校農場協会

東京都渋谷区  
円山町2-20

民の希いは 繁栄の 歴史新たに おこるとき  
進む技術の研鑽に 喜び集う 農場協会

第596号 令和2年8月20日  
(年4回発行)

### 会員の皆様へ

前会長あいさつ

小堀 紀明



現在新型コロナウイルス感染症防止対応の取り組みとして新しい生活様式が求められています。農業関係高校でも、オンライン授業等に各校で取り組まれていることと思います。農業関係科目には体験的に学ぶことでしか修得できない知識や技術があるとともに農場管理等を行う中で学んだ知識や技術を高める必要があります。多くの学校で試行錯誤しながら対応されていることと思います。このような新たな教育が求められる

時に重要となるのが情報です。是非、全国組織である農場協会を使っていただきたいと思えます。各校で得られたノウハウを集約させていただきフィードバックする。各校ではその情報をブラッシュアップしていただき各校独自の取り組みに活かしていただければと思います。農場協会も昨年度のような形で全国大会や農業教育研究協議会を実施できていません。手探りですが、会員の皆様と一緒に新しい農場協会のあり方を模索したいと思えます。ご協力よろしくお願ひします。

最後に昨年度末に文部科学省にご尽力いただき農業教育施設設備充実のための補正予算の通知があり、校長先生や教育委員会との協力のもと申請いただきました。ありがとうございます。おかげさまで、申請いただいた予算はすべて執行されると伺いました。年末年始のお忙しい中ご協力いただきありがとうございます。この場を借りてお礼申し上げます。

### 新会長あいさつ

埼玉県立

秩父農工科学高等学校

校長 菲塚 光信



全国高等学校農場協会の活動に対し、会員の皆様から多大なご支援・ご協力を賜りますこと心から感謝申し上げます。このたび小堀紀明会長の後任として会長を仰せつかりました埼玉県立秩父農工科学高校の菲塚光信です。よろしくお願ひ致します。

令和2年7月豪雨は、九州を中心に各地で甚大な被害がおこりましたが、被災された皆様方には心よりお見舞い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症では、4月16日に緊急事態宣言が発出され3密の回避等が示され、学校において

も行事の見直しや授業時数の確保など今まで経験をしたことがない対応を迫られているかと思えます。そのような状況であることから、令和2年6月に予定されておきました第69回全国大会におきましても残念ながら中止せざるを得ませんでした。さて、全国高等学校農場協会は、昭和27年に結成され農業教育の振興を目的に、農場施設設備の拡充、農業教職員の待遇改善等に努めてまいりました。しかしながら平成15年には、「国立大学法人法」の施行により、都道府県立高校も地方自治法204条に規定され、産業教育手当も地方自治体が独自に支給することとなり、農業教職員の待遇に差が出ている状況にあります。これからも都道府県による産業教育手当の差を無くす方針は変えることなく進めてまいりたいと思っております。また、施設・設備の老朽化等についても全国の状況をまとめ、予算措置等の要望を行ってきているところでありますが、そのほか様々

な課題に対応していくためにも、全国の農業教職員が一致団結することにより、大きな力が発揮できるものと思っております。

微力ではございますが、高等学校農業教育並びに日本農業の振興に貢献できるように頑張つて参りますのでよろしくお願ひ致します。

## 農業教育振興に関する 要望事項

### 重点要望事項

「農業教育の質的向上に  
必要な条件整備」の要望

1、農業教育の質的向上を図る条件整備が求められる背景

① 近年は、情報通信技術（ICT）が急速に普及し、AIや情報・通信最先端技術を活用した大型農業機械やロボット、ドローン等を導入した「スマート農業」が急速に進められ、これまでの農業とは大きく変化している。

② このような状況を踏まえ、高等学校農業教育は国際経済に十分に対応できる競争力を持った農業と活力ある農村を構築し、次の世代につながる重要な責務を担っている。農業関係高校で学ぶ生徒たちに、将来の農業担い手となるための必要な専門知識は何か、それらの知識をどの科目や領域で教えるのか、また、それに伴う必要な技術をどうやって身に付けさせるかを明確にし、それら知識・技術を生徒に確実に習得させることが何より肝要である。

③ そのためには農業教員の質的向上、特に直接指導に当たる教員が農業現場の高度な科学技術に対応できる専門力を身に付けることが必須条件である。

技術を伴う領域の指導者が、現場で実践に即した研鑽・研修ができる環境や条件整備のための予算的措置を要望する。

### 2、今後の活動について

① 各校及び各県で実施されている農業教員の研修の

状況を調査し、教員研修の実態を把握する。

② 調査後、集約・分析し、その結果を踏まえてどのような取組や活動を展開すればよいか、その方針や方向性、あるいはアプローチの仕方などを探り、それを要請活動に繋げていく。

## 新型コロナウイルス 感染拡大！

協会設立初  
代議員による文書決議  
での会長他新役員決定

### 令和2年度 役員紹介

#### 本部役員

- 会長 荏塚 光信  
（埼玉県・秩父農工科学高校）
- 副会長 並川 直人  
（東京都・園芸高校）
- 副会長 小堀 卓二  
（東京都・農芸高校）
- 副会長 吉野 剛文  
（東京都・瑞穂農芸高校）

副会長 藤野 康之  
（栃木県・真岡北陵高校）

副会長 橋本 智  
（栃木県・宇都宮白楊高校）

振興局長 篠原 祐治  
（東京都・農芸高校）

広報局長 江森 忍  
（東京都・農業高校）

研究局長 大坂 操  
（東京都・青梅総合高校）

事務局 須賀 秀次  
（東京都・青梅総合高校）

#### 支部長

北海道支部 川添 雅文

（北海道・大野農業高校）

東北支部 松崎 勝則  
（福島県・福島明成高校）

関東支部 田熊 重利  
（埼玉県・杉戸農業高校）

北信越支部 山岸 祐一  
（長野県・佐久平総合技術

高校 浅間キャンパス）

近東支部 奥田 毅  
（三重県・四日市農芸高校）

中国支部 三山 泰治  
（広島県・西条農業高校）

四国支部 松岡 秀和  
（高知県・高知農業高校）

九州支部 坂田 実幸  
（福岡県・久留米筑水高校）

「食」「環境」「人」の分野のプロフェッショナルを育成します

- 環境園芸学部 環境園芸学科
- 人間発達学部 子ども教育学科
- 健康栄養学部 管理栄養学科
- 食品開発科学科



0120-3739-20  
http://www.nankyudai.ac.jp

半透明のカバーだから良く見える  
攪拌羽根を外して丸洗いOK!  
攪拌スピード4段階!

三研のバターチャン

FJ10 (手動式)

株式会社三研  
農業 畜産 科学  
食品加工機器

TEL 03-6450-0327  
FAX 03-6450-0326  
〒143-0014 東京都大田区大森中3-36-8

http://www.hi-sanken.com  
sanken@hi-sanken.com